

STEP 1 捕獲場所を決める

■ 捕獲場所は、シカが森林防護柵(以下：柵)沿いに歩き回る、または餌により集まりやすい場所にします。

① シカの痕跡を調査。

柵周辺の糞や付近の食痕等を調査し、シカが出現しやすい場所を予測します。



柵沿いで捕獲場所を決める主なポイント



※シカの痕跡の詳細については、P18～19を参照

STEP 1 捕獲場所を決める

- ② 誘引餌を用いて出現頻度を確認したうえで、場所を決定します。
(初心者はセンサーカメラを設置し確認することを推奨する)



※誘引餌にはハイキューブ（P7参照）を用いています

【センサーカメラを設置する利点】
誘引餌に集まるシカの状態を容易に把握する事ができる。

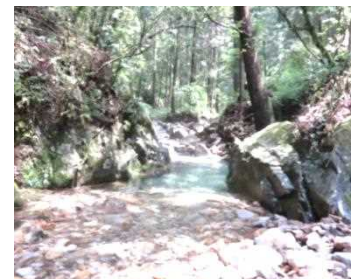
錯誤捕獲を回避できる。（カモシカが頻繁に撮影され、誘引餌に寄って来ている場合、捕獲場所には適さない）

捕獲に適した場所として考慮すべき点

P1の①のシカの痕跡が確認された場所で、かつ下記条件を満たす場所

- アクセスの良い尾根筋
- 伐採跡地、作業路や林道沿いの開けた場所
- くくりワナ（以下：ワナ）が設置しやすい場所
- ワナにかかったシカが、暴れても柵を破壊しない場所
- 見廻りや、捕獲後の止め刺し、搬出、埋設がしやすい場所

※シカは、溪流沿いを避けると言われており、捕獲には適していません。



STEP 2 餌で誘引・誘導する

■ 捕獲予定場所へシカを誘引・誘導します。

- 誘引餌で獣道から誘引し、倒木や石などで誘導体を作りワナを設置した位置にシカを誘導します。



■ 捕獲予定場所にシカを馴化させます。

餌がなくなり次第給餌を行い、シカが警戒せず餌を食べにくるまで、馴化させます。

完全に馴化するまでに、3週間程度必要です。

捕獲予定場所に設置された誘導体と誘引餌



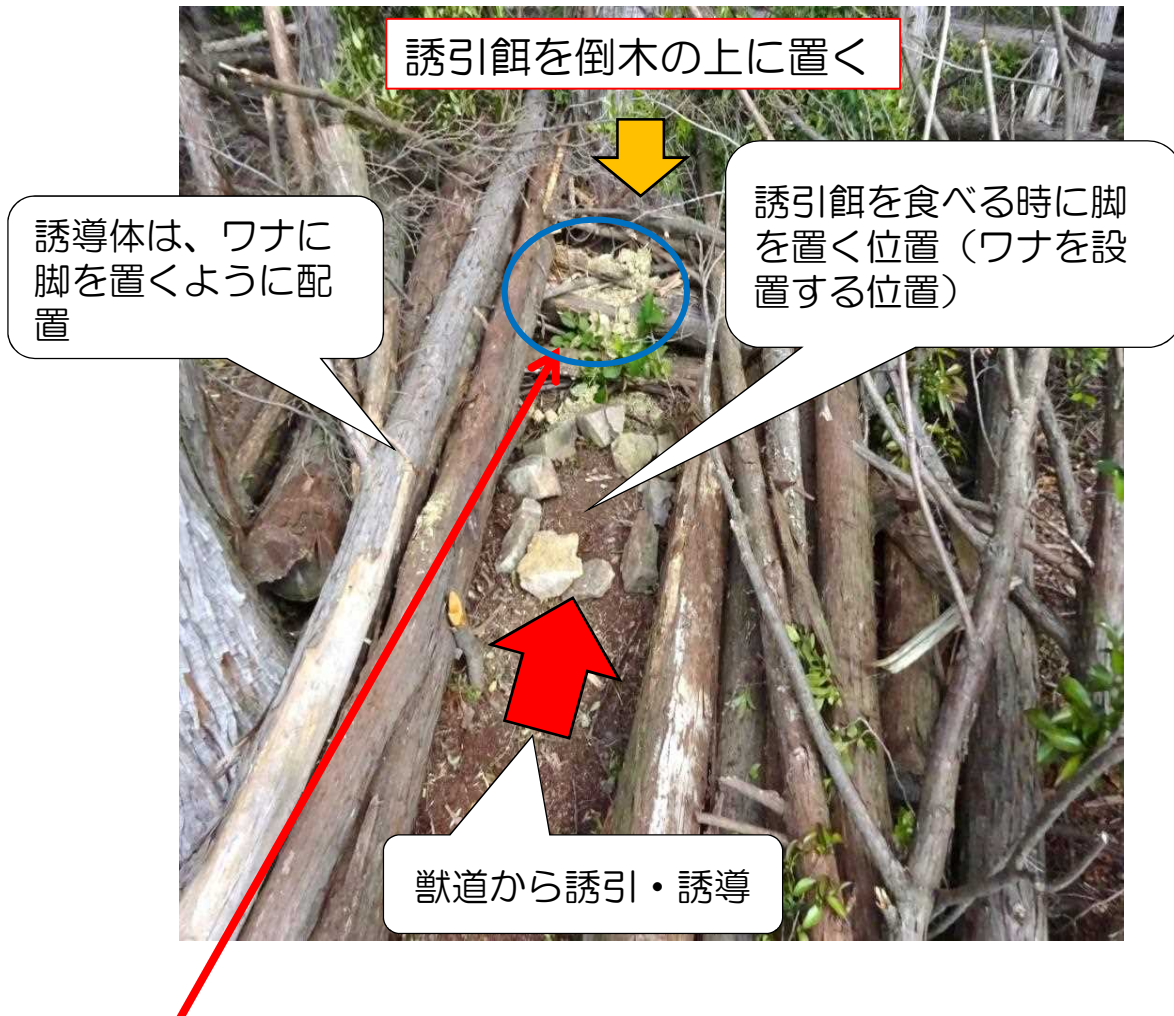
捕獲予定場所に誘引誘導され餌を食べるシカ



※誘引誘導開始から3週間が経っても、シカが出現しない場合や、餌付かない場合は、場所の変更を検討して下さい。

STEP 2 餌で誘引・誘導する

- 誘引餌及び誘導体の設置事例①
林内の伐根や倒木、石を利用する場合

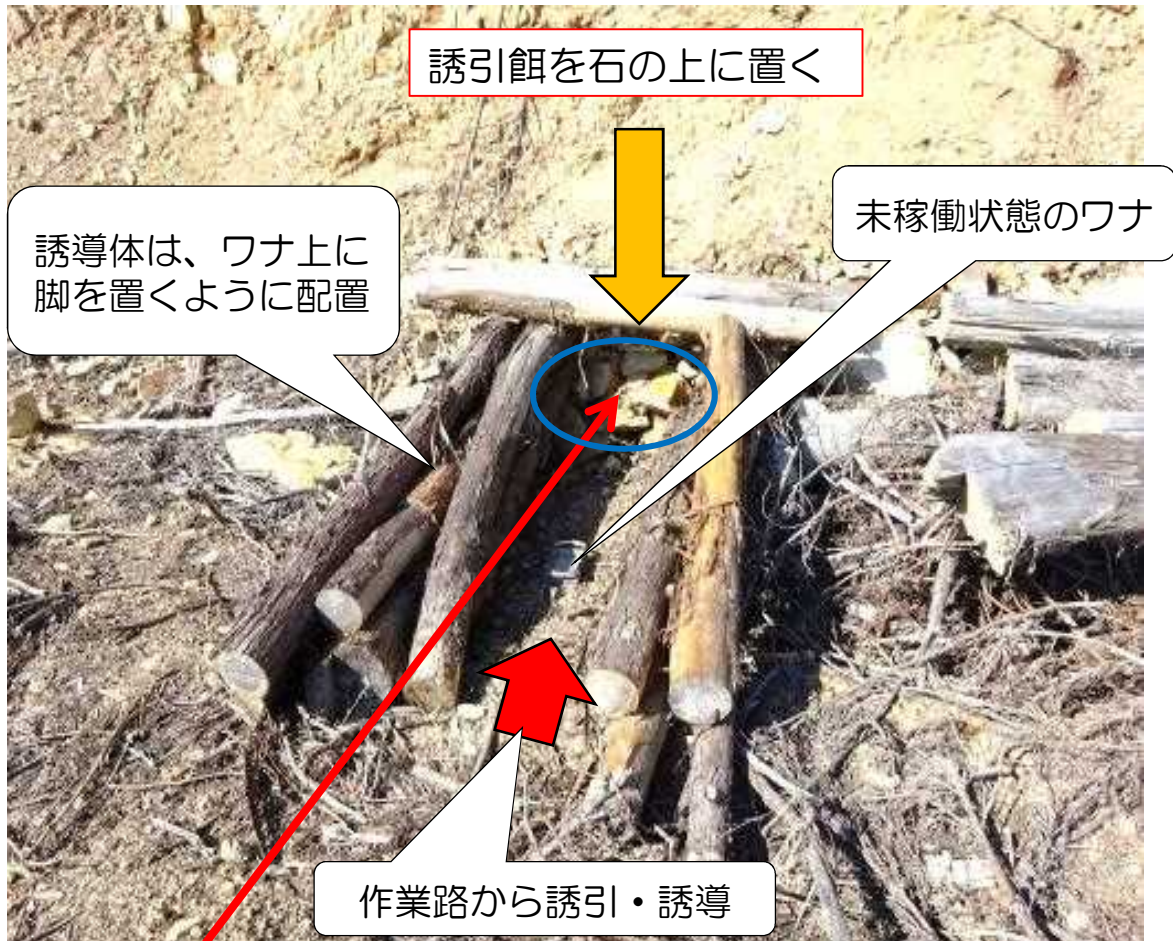


ワナを設置した場所に脚を置かせるように誘引餌を置きます。

誘引・誘導中にワナを設置予定の場所に未稼働状態で置き、あらかじめワナの金属の臭いに馴らすとシカが警戒しにくくなります。(本事例では、未設定)

STEP 2 餌で誘引・誘導する

- 誘引餌及び誘導体の設置事例②
作業路に隣接する柵沿いで倒木や石を利用する場合

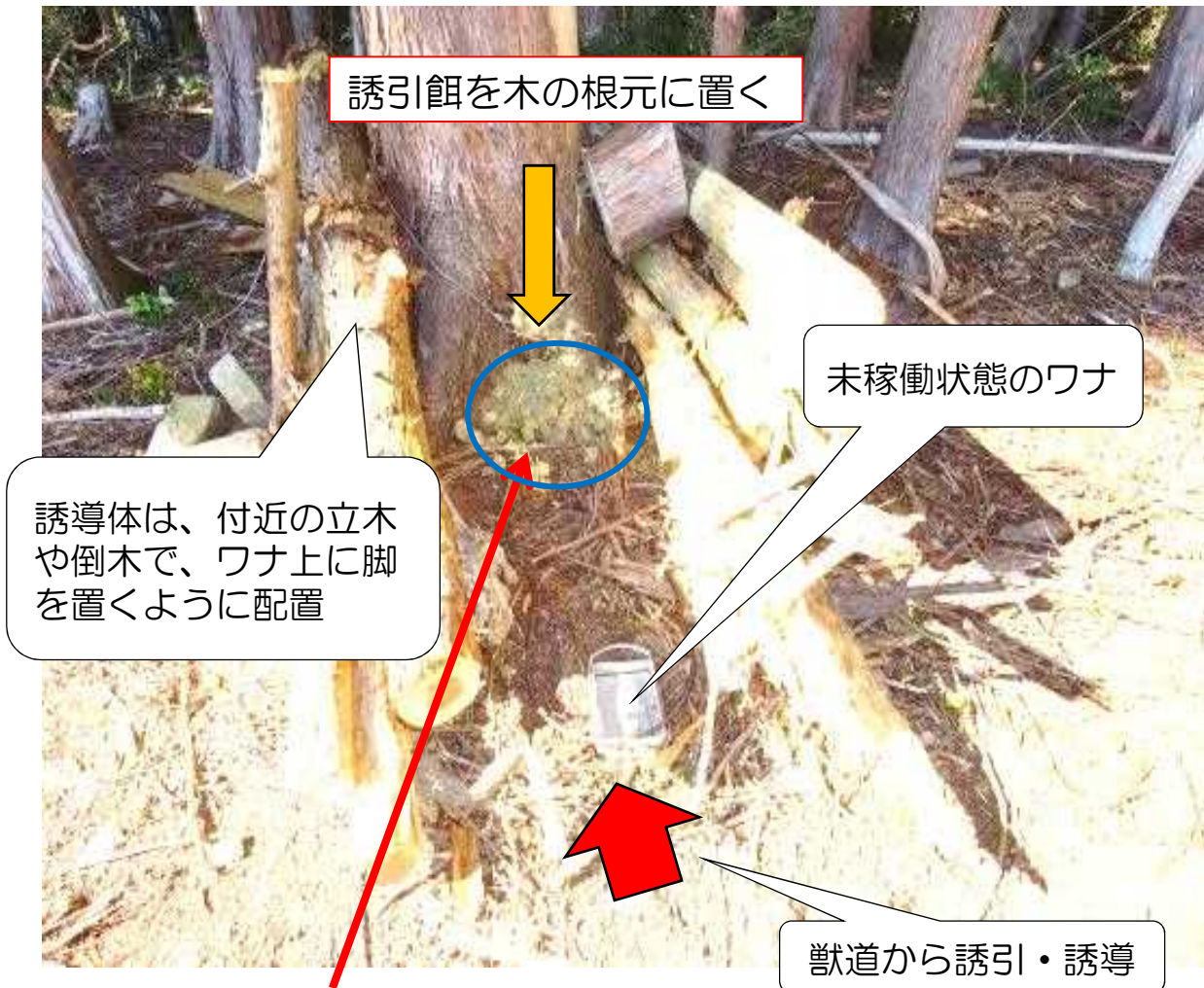


ワナを設置した場所に脚を置かせるように誘引餌を置きます。

誘引・誘導中にワナを設置予定の場所に稼働しないように置き、あらかじめワナの金属の臭いに馴らすとシカが警戒しにくくなります。

STEP 2 餌で誘引・誘導する

- 誘引餌及び誘導体の設置事例③
立木をワナの固定だけではなく誘導体としても利用する場合



ワナを設置した場所に脚を置かせるように誘引餌を置きます。
誘引・誘導中にワナを設置予定の場所に稼働しないように置き、あらかじめワナの金属の臭いに馴らすとシカが警戒しにくくなります。

STEP 2 餌で誘引・誘導する

- シカは生息する地域によって、餌の好み異なります。これまで、和歌山県内では「ハイキューブ」がシカを誘引する餌として、最も高い効果が見られています。



「ハイキューブ」

乳牛の飼料となる牧草を乾燥させ固めた乾草の一種です。

雨に濡れると形が崩れるため、長期間の使用には不向きですが、高い誘引効果が期待できます。

※ハイキューブは、畜産飼料取り扱い店舗で購入することが可能です。

※ハイキューブで誘引できない場合が希にあります。

3週間経ってもハイキューブを食べない場合は、ワナの設置場所を別の場所に変えるか、時期をずらすようにしてください。



「米ぬか」

ワナ猟で一般的に使われていますが、イノシシも誘引するため、シカ限定で捕獲したい場合、誘引餌としては不向きです。